

山口大学大学院医学系研究科  
医学系研究科長 谷澤 幸生



難治性疾患克服のための切り札のひとつとして、再生医療、細胞療法が大きな期待を集めています。iPS細胞や体性幹細胞を用いた再生療法は既に臨床試験段階を迎えつつあり、本学でも骨髄細胞を用いた肝臓再生療法が先進医療に承認されているほか、心血管新生、創傷治癒を目指した再生・細胞療法の研究が進められています。また、がんに対する細胞・免疫療法は実用化の新しいステージを迎えつつあります。その中で、実務を担う、再生・細胞療法に関する深い知識と、細胞培養の技術を習得し、医療倫理、関連法的規制を理解した細胞培養技術者である臨床培養士に対する社会のニーズはますます高くなっています。全国に先駆けて本学に設置した臨床培養士養成課程から安全で有効な再生・細胞療法を担う人材が多数巣立って行くことを大いに期待しています。

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座  
教授 坂井田 功



iPS細胞という画期的な発見以来、細胞を使った治療や臓器の作成などが試みられています。当科では、すでに体性幹細胞（骨髄細胞）を使った肝臓再生療法を世界に先駆けて行い、現在では先進医療に承認されています。また、心臓や末梢動脈の血管新生治療や癌に対する免疫細胞治療も行われています。これらを実施するには、医師だけでは困難な状況で、細胞の取り扱いに精通したプロフェッショナルな医療職業人の存在が欠かせません。このような人材を育成する教育プログラムを全国に先駆けて設けました。将来、山口県のみならず、全国で活躍する人材が巣立って行くことを楽しみにしています。

山口大学大学院医学系研究科  
保健学専攻長 清水 昭彦



再生医療にはとてつもなく大きな希望があります。今まで難治だった多くの疾病の治療を可能にするポテンシャルがあります。しかし、現時点ではその再生医療を実現するために必要な細胞培養を行える人材には限りがあります。そこで、山口大学大学院医学系研究科保健学専攻では、国内で初めてその人材を育成する“臨床培養士育成コース”を大学院に設けました。これにより、次世代を担う多くの医療技術者が育成され、多くの患者さんが助けられることを願っています。

山口大学大学院医学系研究科  
保健学専攻基礎検査学講座  
教授 野島 順三



「再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職人育成プラン」は、臨床検査技師の国家資格を取得した大学院生を対象に、教育機関である大学院医学系研究科・生体情報検査学領域と再生医療・細胞療法を実践する山口大学病院、最先端の研究機関である先端医療振興財団・細胞療法研究開発センターが連結して、次世代の医療技術として期待される再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職業人の育成を行います。

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座 講師  
山口大学医学部附属病院 再生・細胞治療センター 副センター長  
高見 太郎



動物モデル等で安全性や有効性が確認された再生療法がヒト臨床研究として実施され、治療を経て製造販売承認された再生医療等製品もあります。このように再生医療は、職人（研究者や医師）の手作業から産業化へと着実に向かっています。今後、工場制手工業や工場制機械工業へと発展していくでしょう。しかしながら安心安全で高品質な再生医療を提供していくには、専門知識と技術を兼ね備えた人材が不可欠です。我々は、このような社会ニーズに応えるべく、臨床検査技師の新たな職域としての「臨床培養士」の育成に取り組んでいます。

山口大学大学院  
医学系研究科 保健学専攻

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
tel. 0836-22-2111(代)



平成29年度  
医科学者  
育成コース  
博士後期課程  
開設



Vision 山口大学から日本、そして世界へ

# 再生医療・細胞療法

臨床培養士育成コース

博士前期課程

医科学者育成コース

博士後期課程

山口大学大学院

Yamaguchi University Graduate Schools

医学系研究科 保健学専攻



# 再生医療・細胞療法を担う、 高度な医療専門技術者を 育成する

再生医療・細胞療法を推進していくためには、高品質の特定細胞加工物を安全かつ安定的に供給することが重要な課題となります。教育機関である「大学院医学系研究科 保健学専攻」と再生医療・細胞療法を実践する「山口大学医学部附属病院」、さらには最先端の研究機関である「先端医療振興財団」が連携して、専門知識と高度な技術を習得した専任の医療技術職の育成を目指し、実践参加型の教育プログラムを構築しています。

## 先端医療振興財団

- 実践型教育プログラム教材の開発（山口大学と共同）
- 担当教員を対象とした専門技術習得トレーニングの実施
- 合同会議



平成29年度

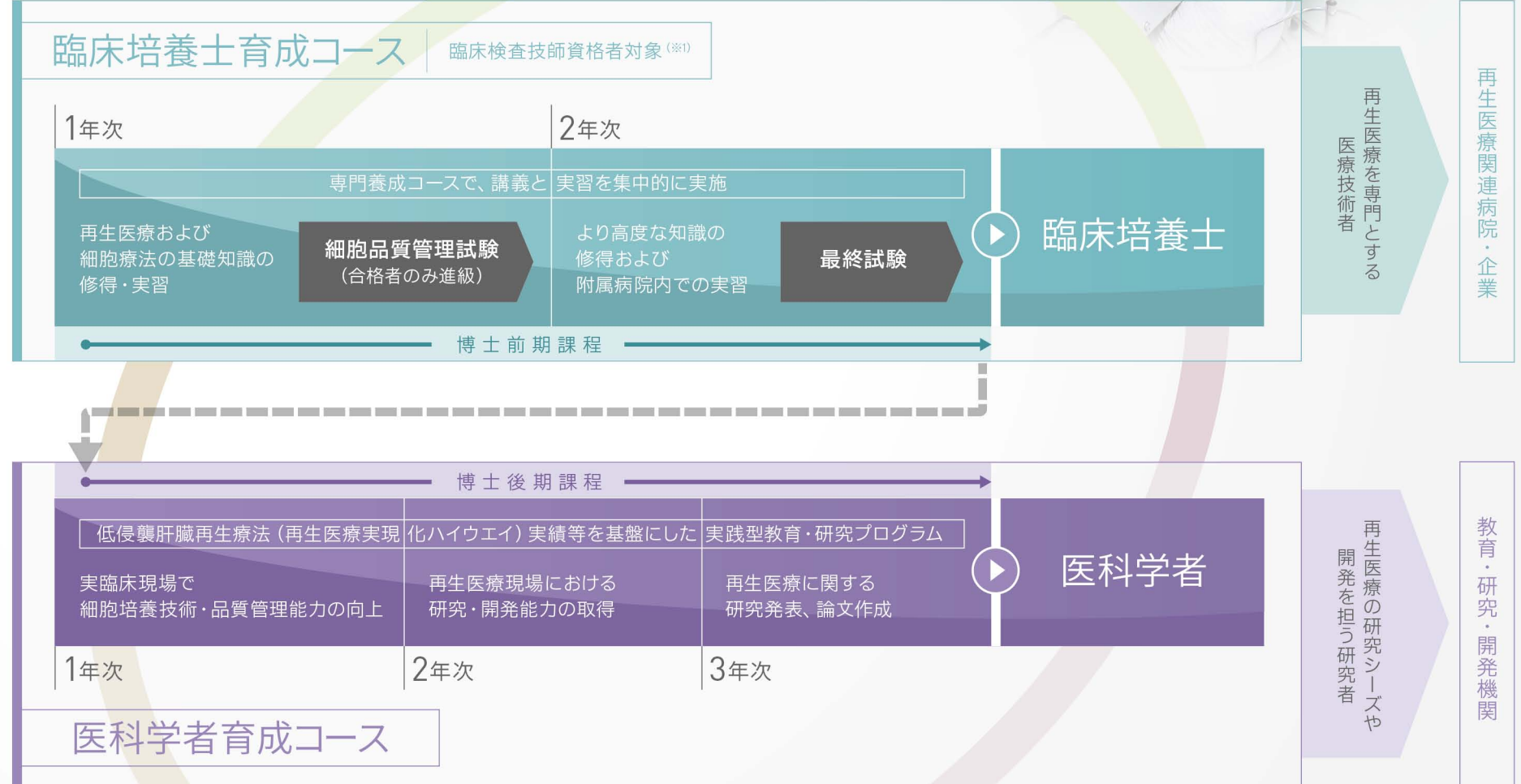
## 医科学者育成コース 新規開設

臨床培養士育成コース(博士前期課程)は、臨床検査技師の国家資格を取得した大学院生を対象<sup>(※1)</sup>に、次世代の医療技術として期待される再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職業人の育成を目指して、平成27年度に新設されました。

このたび上記コースに引き続いて、培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法(再生医療実現化ハイウエイ)等のプロジェクトを基盤にした実践型教育・研究プログラム「医科学者育成コース(博士後期課程)」を新たに開設し、再生医療・細胞療法の研究シーズや新たな医療技術の開発を担う Medical Scientist(医科学者)の育成を目指します。



再生医療・細胞療法を担う高度な医療専門職業人育成プラン



## 日本再生医療学会

- 臨床培養士制度委員会との連携

## 医学部附属病院

- 実践的教育施設の提供
- 附属病院における高度な研究プロジェクトへの参加

<sup>(※1)</sup>原則として、臨床検査技師資格者を対象とします。ただし、臨床培養士制度を考慮して資格取得が有望とみなされ、かつ能力的に履修が可能と判断された場合、それ以外で受け入れることがあります。